

資料編

2 指導と評価の計画

学習過程	時間	主な学習活動	学習形態	学習活動への支援	評価規準	評価項目
気 付 く	1 (1/6)	学習目標：市場経済の基本的な考え方と価格について理解しよう —— 身近な経済活動をシミュレーションしよう —— 課題：企業について調べよう				
		目標：「企業とは何か」について考えよう				
		1. 学習の流れを確認しよう 本単元の学習方法を確認する。	一斉	本単元の学習の流れを説明する。		
		2. 生産の三要素を調べよう ものを生産するために、必要なものは何かを考える。	一斉	生産の三要素とは ・土地（工場用地） ・資本（原材料、設備、機械） ・労働（働き手）であることを知らせ、三洋電機を例に具体的に説明する。		
		3. 企業とは何か考えよう <資料を読み取ろう> 企業の定義を知るために、知っている企業が生産しているものを考える。 三洋電機は何を生産している企業なのか知っていることを発表する。	個人	テレビコマーシャルで知っている企業や、学校に近接する三洋電機東京製作所を例に企業の存在を説明する。 企業とは、資本を使って商品やサービスを生産するものであることを説明する。	ア	企業の今日の経済活動について考えようとしているかどうかについて、生徒を観察した様子から評価する(資料読み取り能力)
		4. 自分の会社をつくらう 会社をつくるために最低限必要なことを考える。	個人	会社名、生産するものの名前、価格を具体的に考え、会社をイメージできるように助言する。	イ	企業の経済活動について、多面的・多角的に考察しているかどうかをワークシートの内容を分析して評価する(資料作成能力)
		5. 実在する企業を調べよう <資料を集めよう> 実在する企業に関する資料を収集する。 持参した折り込み広告を参考にしたり、登下校の様子を想起させたりしながら、学校の周りの知っている企業名や町内の企業名をワークシートに記入する。 その際、官公庁（水道やバスなど）も含めて考える ワークシートを持ち寄って、班の中で意見交換をする。	個人 グループ	企業についての資料を収集することによって企業は身近なところに多く存在することを助言する。	ア	生徒の身近なところに多くの企業が存在することに気付いているかどうかをワークシートの内容を分析して評価する(資料収集能力・資料選択能力・資料読み取り能力)
		目標：「企業を分類し、目的と社会的責任」について考えよう				
		6. 企業を分類しよう <資料を読み取り、選択しよう> 企業を分類する基準を考える。	個人	分類するための基準を、発表できるように敷地面積、売り上げ、従業員数等例示する。 企業には公企業と私企業の2種類あることを説明する。	ア	収集した資料を公企業と私企業に分類できているかどうかをワークシートの内容の分析とグループの話し合いの様子から評価する(資料選択能力)
		企業を2種類に分類するために、収集した資料を取捨選択する。 企業名を記入したワークシートを使って、企業を公企業と	個人 グループ	ワークシートを持ち寄って、班の中で意見交換をするよう助言		

気 付 く	1 (2 / 6)	<p>私企業に分類する。 ワークシートを使って、私企業を個人企業と会社企業に分類する。</p>		<p>する。 私企業は、個人企業と会社企業（株式会社、有限会社、合名会社、合資会社）に分類できることを説明する。</p>	工	<p>私企業には様々な形態があることを理解しているかどうかをグループの話し合いの様子から評価する（資料読み取り・資料選択能力）</p>			
		<p>7. 企業の目的と責任を考えよう <資料を読み取ろう></p> <p>公企業と私企業、それぞれの目的を利潤を視点として考える。</p> <p>企業の社会的責任を、自分たちの暮らしと合わせながら考える。 三洋電機の資料を使って、企業の社会的責任を考える。</p> <p>8. 自分の会社を見直そう 自分の会社の目的と責任を見直す。</p>	個人	<p>公企業は利潤を目的とせず、私企業は利潤を目的とすることを説明する。 ワークシートに記入した企業の主な事業内容を考えさせ、私企業が利潤を目的としていることを説明する。</p> <p>個人</p>	<p>企業は人々の暮らしを向上させるための社会的責任も負っていることを説明する。 企業のWebページの資料を参考にするよう助言する。</p>	ウ	<p>収集した資料から企業の目的を読み取れているかどうかをワークシートの内容を分析して評価する（資料読み取り能力）</p> <p>ウ</p>	<p>企業がもつ社会的責任について考えることができるかどうかをワークシートの内容の分析とグループの話し合いの様子から評価する（資料読み取り能力）</p>	
思 考 す る	1 (3 / 6)	<p>目標：「価格の決め方」を調べよう</p>							
		<p>9. 商品の価格を調べよう <資料を集め、分析しよう></p> <p>折り込み広告の調査やコンビニエンスストア、スーパーマーケット等の実態調査、教科書の資料から商品の価格に関する資料を収集し、商品の価格とその決め方を調べる。 価格の決め方を調べるために価格決定のメカニズムを考える。</p> <p>10. 自分の会社を見直そう 自分の会社の価格設定を見直す。</p> <p>公共料金について調べる。</p>	個人	<p>価格の比較方法を提示する。 ア：小売店によって価格が違う商品 イ：時間によって価格が違う商品 ウ：時期によって価格が違う商品</p> <p>個人</p>	<p>価格変動の例を提示する。 ア：ぶどうの入荷量と価格グラフを活用して、需要と供給の関係を考える イ：SD曲線を活用して、均衡価格を理解する。また価格と生産資源の量の関係に着目して、生産資源を調整するシグナルの役割をしていることも理解させる ウ：電力会社の例を活用して、独占価格を理解する エ：ゲーム機メーカーの例を活用して寡占について理解する オ：公正取引委員会のwebページ資料を活用して、カルテルについて考える</p> <p>一斉</p>	<p>水道、ガス、電気料金から公共料金について説明する。</p> <p>個人</p>	<p>本時で学習したことを振り返らせて、自分の会社の製品の価格が適切に設定されているかどうかを観点に見直すよう助言する。</p>	工	<p>市場経済における価格のもつ意味について理解できているかどうかについて生徒を観察した様子から評価する(資料収集能力)</p> <p>工</p>
		<p>目標：「株式会社のしくみ」を理解しよう</p>							
		<p>11. 株式会社を調べよう <資料を読み取ろう></p> <p>私企業の目的を再確認する。</p>	一斉	<p>前々時を振り返って、私企業は利潤追求が目的であることを再</p>	ウ	<p>経済活動の基本的な意義を理解できているかどうかをワークシ</p>			

思 考 す る	1 (4/6)	株式会社の経営方法を知る。	一斉	確認できるように説明する。	ウ	ートの内容を分析して評価する (資料読み取り能力) 企業の経済活動の在り方について の資料を読み取れているかを ワークシートの内容を分析して 評価する(資料読み取り能力) 企業を客観的にとらえ、経済に ついて調べているかどうかをワ ークシートの内容を分析して評 価する(資料読み取り能力)
		インターネットや新聞の株式 欄や広告を使って、学校の近 隣にある三洋電機、富士重工 業、などの企業について調べ 株式会社の経営方法を知る。	個人	身近な企業を参考に、教科書の 図やワークシートを使って株式 会社に関わる用語やしくみを説 明する。 なぜ、日本には株式会社が多い のか、理由を説明する。		
表 現 す る	1 (5/6)	12. 利潤を増やす方法を考えよう <資料を分析しよう> どのようにしたら企業の利潤 は増やせるのか考える。	一斉	費用と売りに注目をさせて、 収集した資料を分析し、私企業 が利潤を増やすための方法を考 えられるよう助言する。	エ	市場経済において価格の設定が どのような基準で設定されてい るかについて理解できているか どうかをグループの話し合いの 様子の分析から評価する(資料 分析能力)
		13. 自分の会社を見直そう 自分の会社の利潤を増やす方 法を考える。	個人	利潤を増やすには、どのような 工夫が必要か考えるよう助言す る。		
表 現 す る	1 (5/6)	目 標 : 「会社経営」をシミュレーションしよう				
		14. 今まで学習してきたことを 参考にして、目標に迫るため に『ベンチャー企業を起業し よう』 ニッチ市場について知る。	一斉	ニッチ市場とは「ニーズがあり ながら今までにそれに対する供 給がなかった市場を狙った産業 で、創造的・革新的な経営を展 開する小企業・ベンチャービジ ネス」であることを説明する。 ニッチ産業の参考例を提示する 収集した資料を参考にして、会 社設立のために必要なものを考 え、イメージをふくらませるよ う助言する。 ア：会社名 イ：住所 ウ：代表者 エ：基本理念(社会的責任) オ：事業内容(目的) カ：販売方法 等	イ	会社設立のシミュレーションを 通して経済活動を多面的・多角 的に考察しているかどうかをワ ークシートの内容の分析とグル ープの話し合いの様子の分析か ら評価する(資料表現能力)
表 現 す る	1 (5/6)	ニッチ産業の例を参考にする 会社を設立するために必要な ことを考える。	一斉 グル ー プ	「どのような客層に、どんな 商品を、どのように売りたいの か」「他社にまねのできないも のになっているか」を考え上 で、基本コンセプトを考えるよ う助言する。 需要と供給、利潤を考えて価格 を設定するよう助言する。 利潤を多く出すためには、費用 を抑えるか、売りを増やす ことが条件であることを説明す る。 ・売上げ = 単価 × 数であることを 基本にして考えさせるよう助 言する。	ウ	既習事項や収集した資料の中か ら、市場経済の基本的な考え方 を総合的に判断して、価格設定 しているかどうかをワークシ ートの内容の分析とグループの 話し合いの様子の分析から評価 する(資料作成能力・資料処理能 力・資料表現能力)
		会社の基本コンセプト(概念) を考えるために、会社の一番 アピールできる部分はどこな のかを整理させる。	グル ー プ	「どのような客層に、どんな 商品を、どのように売りたいの か」「他社にまねのできないも のになっているか」を考え上 で、基本コンセプトを考えるよ う助言する。	イ	具体的で身近な事例を通して社 会とのかかわりについて客観的 にとらえているかどうかをワ ークシートの内容の分析とグル ープの話し合いの様子の分析か ら評価する(資料表現能力)
表 現 す る	1 (5/6)	価格をどのように設定するか 考える。 利潤を多く出す方法を次の視 点から考える。 ・費用を抑える方法 ・売りを増やす方法	グル ー プ グル ー プ	需要と供給、利潤を考えて価格 を設定するよう助言する。 利潤を多く出すためには、費用 を抑えるか、売りを増やす ことが条件であることを説明す る。 ・売上げ = 単価 × 数であることを 基本にして考えさせるよう助 言する。	イ	市場経済の内容と意義が理解で きているかどうかをワークシ ートの分析から評価する(資料分
		今までの学習のまとめとして お互いの会社を相互評価する。	個人	次の観点でワークシートを使っ て評価するよう説明する。 ・社会的責任を果たす会社になっ	エ	市場経済の内容と意義が理解で きているかどうかをワークシ ートの分析から評価する(資料分

表 現 す る	1 (6/6)	評価した結果をわかりやすくするために、成長しそうな企業の株式を模擬購入する。	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な価格設定が行われているか。 ・需要があるか。 ・目的がはっきりしているか。 ・価格は適切か。 ・利潤を増やすための方法はあるか。 	イ ウ	析能力) 企業の経済活動について、多面的・多角的に考察しているかどうかをワークシートの内容を分析して評価する(資料作成能力) 市場経済の基本的な考え方と価格について理解できたかどうかをワークシートの内容を分析して評価する(資料分析能力)
		発表された結果を参考にして自分たちの会社を改善する。	グループ	一人一人が、各グループの企業を評価し、評価の点数を基に、企業の株式を模擬購入することを説明する。(どの会社も一株は1,000円とする)結果をすぐに集計し発表する。		
		改善策を発表する。	グループ	企業の目的と責任を観点に、投資された金額を参考にして、改善策について考えるよう助言する。		
		お互いの会社を、再度相互評価する。	個人	考え直した社会的責任と事業内容、価格設定を理由をつけて発表するよう助言する。		
		まとめる シミュレーションを通して理解した市場経済の基本的な考え方を確認する。	一斉	変更点が会社を発展させるかどうかについて評価し再度、株式を模擬購入するよう助言する。結果をすぐに集計・発表し、1回目の結果と比較する。		
				まとめのプリントを使って、小単元の総括をするよう説明する		

第1時指導案

1. 学習目標

- ・資本主義経済の大まかな特徴を理解するために、企業の定義について考える。

2. 準備

- ・新聞の折り込み広告（生徒）、ワークシート、電話帳（教師）

3. 展開

学 習 活 動	時間 (分)	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体的 評価規準及び評価方法
<p>1. 学習の流れを確認しよう 単元の目標は『身近な経済活動のシミュレーションを通して市場経済の基本的な考え方を理解する』 単元の課題は、『企業について調べよう』であることを確認する。</p> <p>本時の課題を把握しよう 課題が『「企業とは何か」について考える』であることを確認する。</p>	5	<p>この小单元では、生産・消費などの活動（経済）について、シミュレーションを通して学習することを伝える。</p> <p>本時の課題を提示する。</p>	
<p>2. 生産の三要素を調べよう ものを生産するために、必要なものは何かを考える。</p> <p>3. 企業とは何か考えよう <資料を読み取る> 企業の定義を知るために、知っている企業が生産しているもの考える。 三洋電機は何を生産している企業なのか知っていることを発表する。</p> <p>4. 自分の会社を作ろう <資料を作成しよう> 会社をつくるために最低限必要なことを考える。</p> <p>5. 実在する会社を調べよう <資料を集めよう> 実在する企業に関する資料を収集する。 持参した折り込み広告を参考にしたり、登下校の様子を想起させたりしながら、学校の周りの知っている企業名や町内の企業名をワークシートに記入する。ワークシートを持ち寄って、班の中で意見交換をする。</p>	35	<p>生産の三要素とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地（工場用地） ・資本（原材料、設備、機械） ・労働（働き手） <p>であることを知らせ、三洋電機を例に具体的に説明する。</p> <p>テレビコマーシャルで知っている企業や、学校に近接する三洋電機東京製作所を例に、企業の存在を説明する。 企業とは、資本を使って商品やサービスを生産するものであることを説明する。</p> <p>会社名、生産するものの名前、価格を具体的に考え、会社をイメージできるように助言する。</p> <p>企業についての資料を収集することによって企業は身近なところに多く存在することに気付かせる。</p>	<p>企業が様々な経済活動を行っていることを、資料から読み取っている(資料読み取り能力) <思考・判断></p> <p>身近なところに多くの企業が存在することに気付いている (資料収集能力・資料選択能力・資料読み取り能力)</p>
<p>本時のまとめをしよう 本時で学習したことを、ワークシートにまとめる。</p>	10	ワークシートを使って、本時のまとめをするよう説明する。	

第2時指導案

1. 学習目標

- ・企業を分類し、目的と社会的責任を考え、経済についての関心を深める。

2. 準備

- ・新聞（生徒）、新聞の折り込み広告（生徒）、ワークシート、電話帳（教師）

3. 展開

学 習 活 動	時間 (分)	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の 評価規準及び評価方法
<p>前時の復習をしよう 企業は、公企業と私企業の2種類に分類できたことを思い出させる。</p> <p>本時の課題を把握しよう 課題が『企業の目的と社会的責任を考える』であることを確認する。</p>	5	<p>企業は、公企業と私企業の2種類に分類できたことを確認するために、ワークシートを提示する。</p> <p>本時の課題を提示する。</p>	
<p>6. 企業を分類しよう <資料を読み取り、選択しよう> 企業を分類する基準を考える。</p> <p>企業を2種類に分類するために収集した資料を取捨選択する。企業名を記入したワークシートを使って、企業を公企業と私企業に分類する。 ワークシートを使って、私企業を個人企業と会社企業に分類する。</p> <p>7. 企業の目的と責任を考えよう <資料を読み取ろう> 公企業と私企業それぞれの目的を利潤を視点として考える。</p> <p>企業の社会的責任を、自分たちの暮らしと合わせながら考える 三洋電機の資料を使って、企業の社会的責任を考える。</p> <p>8. 自分の会社を見直そう 自分の会社の目的と責任を見直す。</p>	35	<p>分類するための基準を、発表できるように敷地面積、売り上げ、従業員数等例示する。 企業には公企業と私企業の2種類あることを説明する。 ワークシートを持ち寄って、班の中で意見交換をするよう助言する。 私企業は、個人企業と会社企業（株式会社、有限会社、合名会社、合資会社）に分類できることを説明する。</p> <p>公企業は利潤を目的とせず、私企業は、利潤を目的とすることを説明する。 ワークシートに記入した企業の主な事業内容を考えさせ、私企業が利潤を目的としていることを説明する。 企業は人々の暮らしを向上させるための社会的責任も負っていることを説明する。 企業のWebページの資料を参考にしよう助言する。</p> <p>目的と責任のある会社になっているか見直すよう助言する。</p>	<p>ワークシートに記入した企業を公企業と私企業に分類することができる（資料選択能力） <技能・表現></p> <p>企業の主な事業内容に関する資料から、私企業の目的と責任を読み取ることができる （資料読み取り能力） <思考・判断></p>
<p>本時のまとめを行う 本時で学習したことを、ワークシートにまとめる。</p>	10	<p>ワークシートを使って、本時のまとめをするよう説明する。</p>	

第3時指導案

1. 学習目標

- ・価格の決めり方を調べる

2. 準備

- ・実態調査結果（生徒）、ぶどうの入荷量と価格グラフ（教師）、ワークシート

3. 展開

学 習 活 動	時間 (分)	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体的 評価規準及び評価方法
<p>前時の復習をしよう 企業は、目的と社会的責任をもっていることを思い出させる。</p> <p>本時の課題を把握しよう 課題が『価格の決めり方を調べる』であることを確認する。</p>	5	<p>企業の目的と社会的責任を確認するためにワークシートを提示する。</p> <p>本時の課題を提示する。</p>	<p>市場経済における価格のもつ意味を知るために、資料を集めることができる (資料収集能力) <技能・表現></p>
<p>9. 商品の価格を調べよう <資料を集め、分析しよう> 折り込み広告の調査やコンビニエンスストア、スーパーマーケット等の実態調査、教科書の資料から商品の価格に関する資料を収集し、商品の価格とその決めり方を調べる。</p> <p>価格の決めり方を調べるために価格決定のメカニズムを考える</p> <p>価格が資源の再分配の役割をもっていることも調べる。</p> <p>公共料金について調べる。</p>	35	<p>価格の比較方法を提示する。 ア：小売店によって価格が違う商品（スーパーとコンビニ） （家電量販店と電器店） イ：時間によって価格が違う商品（スーパーの生鮮食料品） （昼間の勤務と夜間の勤務の賃金） ウ：時期によって価格が違う商品（正月の観光地のホテル） などについて理由を考えさせる 価格変動の例を提示する。 ア：ぶどうの入荷量と価格グラフを活用して、需要と供給の関係を考える イ：SD曲線を活用して、均衡価格を理解する。また、価格と生産資源の量の関係に着目して、生産資源を調整するシグナルの役割をしていることも理解させる。 ウ：電力会社の例を活用して、独占価格を理解する。 エ：ゲーム機メーカーの例を活用して寡占について理解する。 オ：公正取引委員会のwebページ資料を活用して、カルテルについて考える。 水道、ガス、電気料金から公共料金について説明する。</p> <p>本時で学習したことを振り返らせて自分の会社の製品の価格が適切に設定されているかどうかを観点に見直すよう助言する。</p>	<p>収集した資料から、事実が発生する理由を考えることができる (資料分析能力)</p> <p>市場経済では、どのように価格が決まっているのか考えることができる(資料分析能力) <知識・理解></p>
<p>本時のまとめを行う 価格の決めり方についてワークシートにまとめ自己評価を行う</p>	10	<p>ワークシートを使って、本時のまとめと自己評価を行うよう説明する。</p>	

第4時指導案

1. 学習目標
 - ・株式会社のしくみを理解する
2. 準備
 - ・新聞（生徒）、新聞の折り込み広告（生徒）、ワークシート

3. 展開

学 習 活 動	時間 (分)	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体の 評価規準及び評価方法
<p>前時の復習をしよう 価格は、需要と供給を基本に決定されることを確認する。</p> <p>本時の課題を把握しよう 課題は『株式会社にしくみについて調べる』であることを確認する。</p>	5	<p>価格の決まり方を確認するためにワークシートを提示する。</p> <p>本時の課題を提示する。</p>	
<p>11. 株式会社を調べよう <資料を読み取る> 私企業の目的を再確認する。</p> <p>株式会社の経営方法を知る。</p> <p>インターネットや新聞の株式欄や広告を使って、学校の近隣にある三洋電機、富士重工業、などの企業について調べ株式会社の経営方法を知る。</p> <p>12. 利潤を増やす方法を考えよう <資料を分析しよう> どのようにしたら企業の利潤は増やせるのか考える。</p> <p>13. 自分の会社を見直そう 自分の会社の利潤を増やす方法を考える。</p>	35	<p>前々時を振り返って、私企業は利潤追求が目的であることを再確認できるように説明する。 身近な企業を参考に、教科書の図やワークシートを使って株式会社に關わる用語やしくみを説明する。 なぜ、日本には株式会社が多いのか理由を説明する。</p> <p>費用と売りに目に注目させて、収集した資料を分析し、私企業が利潤を増やすための方法を考えられるよう助言する。</p> <p>利潤を増やすにはどのような工夫が必要か考えるよう助言する。</p>	<p>企業の経済活動の在り方について資料を読み取ることができる (資料読み取り能力) <思考・判断></p>
<p>本時のまとめを行う 株式会社のしくみについてワークシートにまとめ自己評価を行う。</p>	10	<p>ワークシートを使って、本時のまとめと自己評価を行うよう説明する。</p>	

第5時指導案

1. 学習目標

- ・会社経営のシミュレーションを行い、学習への興味・関心を持ち、表現の仕方やまとめ方について学ぶ。

2. 準備

- ・ワークシート

3. 展開

学習活動	時間(分)	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体的評価規準及び評価方法
<p>前時の復習をしよう 株式会社は、株式を発行することにより、市場から資金を調達し、経営に活かしていることを確認する。</p> <p>本時の課題を把握しよう 課題は『ベンチャー企業を起業しよう』であることを確認する</p>	5	<p>株式会社のしくみを確認するためにワークシートを提示する。</p> <p>本時では、会社経営のシミュレーションを行うことを伝える。</p>	
<p>14. 今まで学習してきたことを参考にして、目標に迫るために『ベンチャー企業を起業しよう』</p> <p>ニッチ市場について知る。</p> <p>ニッチ産業の例を参考にする。</p> <p>会社を設立するために必要なことを考える。</p> <p>会社の基本コンセプト(概念)を考えるために、会社の一番アピールできる部分はどこなのかを整理させる。</p> <p>価格をどのように設定するか考える。 利潤を多く出す方法を次の視点から考える。 ・費用を抑える方法 ・売り上げを増やす方法</p>	35	<p>ニッチ市場とは「ニーズがありながら今までにそれに対する供給がなかった市場を狙った産業で、創造的・革新的な経営を展開する小企業・ベンチャービジネス」であることを説明する。 ニッチ産業の参考例を提示する。 ・24.5以上の婦人靴のみを扱う靴店 ・自転車用のリモコンロック ・手すり用滑り止めシール ・車いす用デイバック ・写真からつくるジグソーパズル ・分解できるビニール傘 ・米粉を使った米粉麺</p> <p>収集した資料を参考にして、会社設立のために必要なものを考え、イメージをふくらませるよう助言する。 ア：会社名 イ：住所 ウ：代表者 エ：基本理念(社会的責任) オ：事業内容(目的) カ：販売方法 等 「どのような客層に、どんな商品を、どのように売りたいのか」「他社にまねのできないものになっているか」を考えたとで、基本コンセプトを考えるよう助言する。 需要と供給、利潤を考えて価格を設定するよう助言する。 利潤を多く出すためには、費用を抑えるか売り上げを増やすことが条件であることを説明する。 ・売り上げ=単価×数であることを基本にして考えさせるよう助言する。</p>	<p>会社設立のシミュレーションを通して経済活動を多面的・多角的に考察している (資料表現能力) <思考・判断></p>
<p>本時のまとめを行う 会社の概要をグループごとにワークシートにまとめる。</p>	10	<p>会社の概要をよく吟味して、ワークシートに記入するよう説明する。</p>	

第6時指導案

1. 学習目標

- ・会社経営のシミュレーションを行い、学習への興味・関心をもち、表現の仕方やまとめ方について学ぶ。

2. 準備

- ・ワークシート

3. 展開

学 習 活 動	時間 (分)	指導上の留意点及び支援の工夫	学習活動における具体的 評価規準及び評価方法
<p>本時の課題を把握しよう 課題は、前時に引き続いて『世 の中で認められる会社を作ろ う』であることを確認する。</p>	3	本時では、会社経営のシミュレーシ ョンを行うことを伝える。	
<p>会社の概要を再検討する 今までの学習のまとめとして、 お互いの会社を相互評価する。</p> <p>評価した結果をわかりやすくす るために、成長しそうな企業の 株式を模擬購入する。</p> <p>発表された結果を参考にして、 自分たちの会社を改善する。</p> <p>改善策を発表する。</p> <p>お互いの会社を、再度相互評価 する。</p>	37	<p>次の観点でワークシートを使って評 価するよう説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的責任を果たす会社になっ ているか ・適切な価格設定が行われている か ・需要があるか ・ほかの会社にまねのできないアイ デアがあるか。(目的がはっきりし ているか) ・利潤を増やすための方法はある か。 <p>一人一人が、各グループの企業を評 価し、評価の点数を基に、企業の株 式を模擬購入することを説明する。 (どの会社も一株は1,000円とする) 結果をすぐに集計し発表する。 企業の目的と責任を観点に、投資さ れた金額を参考にして、改善策につ いて考えるよう助言する。 考え直した社会的責任と事業内容、 価格設定を理由をつけて発表するよ う助言する。 変更点が会社を発展させるかどうか について評価し、再度、株式を模擬 購入するよう助言する。 結果をすぐに集計・発表し、1回目 の結果と比較する。</p>	<p>市場経済の内容と意義 が理解できている (資料分析能力) <知識・理解></p>
<p>まとめる シミュレーションを通して理解 した市場経済の基本的な考え方 を確認する。</p>	10	まとめのプリントを使って、小単元 の総括をするよう説明する。	